

施策名		意見
政策C1(市民活動・コミュニティ):地域で支え合い、暮らせるまちづくり		
C1-1	多様な担い手による地域づくりの推進	<p>協働、協力、共催など市民との関わりの中で実施した事業の数で「多様な担い手による地域づくりの推進」の進捗度合いが計測できるのではないかと。また、市の事業の中では、一団体との連携だけではなく複数の団体と関わりを増やすようにしてはどうか。</p> <p>「コミュニティ施設のさらなる活用」の計測のためには、集会所やコミュニティ施設の稼働率等の数値も使えるのではないかと。</p>
C1-2	市民主体による地域づくりの推進	<p>主な施策の方向性と今後4年間の重点的な取り組み(2)の地域懇談会・地域委員会の設置について、社会福祉協議会の中で10個のコミュニティエリアごとに地域福祉推進委員会という枠組みがあるが、それと重複したものにならないか。両者はどのようにリンクするのか。</p> <p>地域懇談会・地域委員会については、ただちに市内全域で設置されるのではなく、調整が完了したエリアから順次設置を進める形なのであれば、具体的な指標として地域委員会の設置数もあり得るのではないかと。</p> <p>地域懇談会・地域委員会が解決を目指す課題の内容に合わせて、活動を測定できる指標の設定が必要。社会福祉協議会と区別できないが、地域懇談会・地域委員会や地域担当職員の設置については、地区ごとの市民意識を使ってはどうか。将来的に課題を解決していく段階に入った際には、課題解決数等も考えられるが、数値の水増しがなされる懸念もある。</p> <p>市役所のバックアップの有無はやはり活動に大きく影響するが、地域懇談会との関係等については社会福祉協議会としてももう少し検討したい。</p>
政策C2(文化・交流):豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり		
C2-1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり	<p>現状の指標でもそこまで問題ないのではないかと。</p> <p>「市民1人当たりの、図書館の個人貸出冊数及びリサイクルで頒布した資料数」は、単純に合算して問題ないのか。他自治体と比較できるよう、貸出冊数のみでもよいのではないかと。他自治体の状況等確認して欲しい。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、何か取り組みに力を入れるのであれば、その取り組みを測る指標を成果目標値に出来るとよい。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるために、ラジオ体操教室等イベントが計画されているのであれば、競技の観客数や映像視聴者数等に加え、関連イベントのイベント数や参加者数はどうか。</p>
C2-2	多様な交流による地域づくり	<p>国際交流活動に「参加している」、「参加していた」、「参加したい」市民の割合のうち、「参加したい」市民の割合は除いたほうがよいのではないかと。</p> <p>出入国管理及び難民認定法の改正に関連して、多摩市では今後4年間で特に対応は必要ではなく、基本的にはこれまでの施策の延長線上で扱うという理解でよいのか。極めて重要な話題と考えるが、現状の成果目標値には採用されていない。</p> <p>外国人に対しての意識調査もあり得るのではないかと。</p> <p>国際交流事業等として外国人との交流にスポットを当てるよりも、外国人が日本人の住民と同様にコミュニティに溶け込み自然に交流が行われる形を目指すべき。分かりやすい指標としては、外国人の地域活動への参加者数や参加率は代理的な指標になるかもしれない。</p> <p>この施策は第2期基本計画では達成度が良好なので目標値を上げてはどうか。</p>
C2-3	文化の継承と創造	<p>近隣自治体では文化振興条例を制定している所があるが、多摩市にはそのような条例がないため、施策の方向性に盛り込んでほしい。</p> <p>一見、全見学者に占める小学3・4年生の割合とも読み取れる。小学3・4年生に占める見学者数の割合と分かりやすい名称にした方がよいのではないかと。また、3・4年生に限る意味もないと思われるため、全学年の小学生にしてもよいのではないかと。</p> <p>パルテノン多摩は修繕に入ると思われるため、来館者といった目標値の修正など対応を検討してほしい。</p>
政策C3(平和・共生):だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり		
C3-1	平和の希求と人権の尊重	<p>平和展について、現在のプログラムはあまり魅力的に感じない。現状のままでは入場者数を増加させることは困難では。意義は分かるが、工夫が必要。工夫度合いを測る指標の方が達成が容易ではないかと。</p> <p>C2-3のように小学生を巻き込んでどうか。例えば、地元の児童・生徒を対象とした参加型のワークショップなどはどうか。</p> <p>ゆう桜ヶ丘コミュニティセンターでの平和展のように、パルテノン多摩での平和展に限らず、他の場所でも取り組みが出来ると良い。また、そのような取り組みを学校等と連携して広く展開できるとよい。</p> <p>施策の方向性を踏まえると、小学生に限らず、若い世代の参加者・入場者数や、被爆地派遣等の平和事業経験者が関わったイベント開催数・参加者数、また学校との連携度合い等を成果目標値にできないかと。</p>

C3-2	男女平等・男女共同参画の推進	<p>ジェンダーに関する話題はSDGsでも取り上げられている。何か反映できる要素があるのでは。</p> <p>施策の内容自体はよいが、施策名に男女共同参画という言葉は必要か。看板を下ろすことへの反応を懸念するのは分かるが、近年はむしろ、LGBTも含めたジェンダー平等を達成しようという流れだ。SDGsのゴール5も「ジェンダー平等を達成しよう」という名称である。</p> <p>男女平等参画というフレーズは古い。今の若い世代は、性別にかかわらず私は私、という感覚では。以前は女性の出世に憧れもあったが、現代は働かない生き方も認められてきている。管理職割合よりも働いている数の方が違和感は少ない。また、現状として女性の相談件数が増えているのであれば行政がサポートしていると言えるのでは。そもそも、社会に出るのが参画というのも、ひとつの価値観でしかない。</p> <p>女性の年齢別就業率における、いわゆる「M字カーブ」の解消に努めてはどうか。</p> <p>成果目標値の①「市の行政委員会、付属機関等における女性委員の比率」の代わりに、女性議員の割合、女性幹部職員の割合、女性職員の割合等はどうか。市役所での割合か、可能であれば市内事業者における割合が指標化できるとよい</p> <p>市内事業者での女性比率について、目標や施策等はあるのか。女性比率の向上に対して市がインセンティブを作ることができるかどうか重要と考える。</p> <p>B4にも関わるが、SOGIに関するハード面の取り組み、例えば公共施設におけるだれでもトイレや学校の更衣室等の対応を指標化できないか。</p>
------	----------------	---

政策D1(経済観光):人々が集い、働く、活気と魅力あるまちづくり

D1-1	産業の振興による地域経済の活性化の推進	<p>東京2020オリンピックパラリンピック大会等を契機として、テレワーク等、働き方改革が進む可能性はないか。そのような変化を捉える成果目標値を設定したり、取り組みの方向性の一つにしてはどうか。</p> <p>上記の変化の捉え方として、コワーキングスペースやWi-Fi環境が整備された公共施設等、場所を明確にして利用度を計測してはどうか。</p> <p>市内4駅の乗降客数について、総数だけでなく乗降客の属性を分析できないか。</p>
D1-2	観光の視点によるまちの魅力づくりの推進	<p>多摩市はベビーカー利用者が多いと感じる。まちの歩きやすさを示す指標として、データを把握できないか。</p> <p>今後4年間の重点的な取り組みと現在の成果目標値である「ロケ撮影受入件数」は関連が見えにくいのではないか。</p> <p>外国人の来街者が増えているため、外国人来街者数を成果目標値にしてはどうか。</p> <p>観光施設だけでなく、まちなかの飾りつけや写真スポット等も観光資源と捉え、効果を測れないか。</p> <p>観光の推進にあたって、外国人人材を活用できないか。</p>
D1-3	農業者と市民が支える都市農業の推進	<p>認定農業者数は今後も指標にすべき。</p> <p>農地の保全を進めることを前提に、いかに市民との関わりを増やしていくか考えるべき。また、その状況を測る成果目標値を設定できないか。</p> <p>市民との関係という面で、市民への安心安全な農産物の提供という観点から、農産物直売所数等を指標化してはどうか。</p> <p>市内の市民農園への入園者数利用人数利用率はどうか。</p> <p>農地の増加が難しい中、認定農業者数の増加と市民農園数の増加は両立が難しい目標なのではないか。</p>
D1-4	拠点地区の拠点性の向上	<p>小売業の売上を指標に出来ると良い。また、以前も提案した通り、駅の乗降客数やその内訳も指標に出来ると良い。ベビーカー利用者など、どういう人が多摩市を訪れているのかカウントできるとよいのでは。</p> <p>駅周辺の定義を明確にする必要があるが、駅ごとの税込などは公表が難しいのか。</p> <p>毎年定期的に行われているイベントの来場者数について、主催者発表であればデータの質をチェックした上で可能であれば使用できるとよい。</p>

政策E1(防災・防犯):安全・安心のまちづくり

E1-1	減災・防災体制のさらなる強化	<p>特定建築物ではない民間の建物では、耐震化はあまり進んでいないのではないか。</p> <p>自主防災組織数よりも訓練の実施数や参加者数を指標化した方が良いのでは。開催地域が変わっていくため、実数ではなく地域における参加率に出来ると良い。</p>
E1-2	暮らしの安全を守るまちづくりの推進	<p>実数の把握が前提となるが、空き家数、もしくは特定空き家数は指標化した方が良さそう。</p> <p>防犯協会の支部数よりも、多く行われている子どもの見守り団体の数や、防犯協会の主な事業への参加者数等の方が良いのでは。</p>

政策E2(都市づくり): 安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり		
E2-1	適正な公共施設等の維持・更新	<p>地区計画の策定件数を指標に使用している自治体もあると思われるが、指標化できないか。</p> <p>未来志向で、自動運転に関する指標等を設定してはどうか。</p> <p>ニュータウン再生の推進が、具体的にどのような取り組みを進めるのか見えにくい。若い世代の呼び込み、人口構成のバランスの改善等が含まれるのであれば、少しアウトプットからは遠いが、若い世代の割合等はどうか。目標値としては、全国平均と同水準としてはどうか。</p> <p>関連する個別計画でしっかりと進捗管理を行っているので、個別計画の方で設定された指標を踏まえて検討してほしい。</p>
E2-2	安全で快適な移動空間の確保	<p>関連する個別計画でしっかりと進捗管理を行っているので、個別計画の方で設定された指標を踏まえて検討してほしい。</p>
E2-3	街の活力を高める交通ネットワークの強化	<p>街路灯のLED化であれば、取替件数等を指標化できるのではないかと。なお本来は、市道だけでなく都道についても計測できるとよい。</p> <p>交通安全教室への参加者数等が考えられるのではないかと。それに加えて、世代間のバランス等をどう盛り込めるか、検討してもらえるとよい。</p>
E2-4	良質な住宅の確保と居住環境の形成の促進	<p>主に今後4年間の重点的な取り組み②、③、④が指標に反映されていないと考える。⑤「交通のバリアフリー化の推進」は指標化が可能なのではないか。</p> <p>③「駐車・駐輪対策」に関しては、元々の施策E1-3の成果指標であった放置自転車数をそのまま使用してはどうか。また交通のバリアフリー化の推進も、交通事業者との協力を基に進めていく必要性は分かるが、現状を数値化し、目標値は100%に近づけるとしてはどうか。</p>
E2-5	次世代につなぐ都市づくりの推進	<p>町名地番整理達成率は指標としてはあまり適さないのではないかと。</p> <p>空き家対策など、住宅マスタープランで指標化・目標値設定が適切に行われているのであれば、住宅マスタープラン等関連する個別計画で設定された指標を踏まえて検討してほしい。</p>

政策F1(環境): 地球と人にやさしい持続可能なまちづくり		
F1-1	自然環境・都市環境の保全と創出	<p>緑の総量の増加よりも、市民等とも連携した緑の質の向上や活用の推進、維持管理が重要。市民のかかわりの状況が分かる成果目標値を設定すべきではないか。</p> <p>生物多様性を測る代理指標として、市内で確認される鳥類の種数を鳥類の観察団体に照会したり、鳥類の観察イベントの回数等を成果目標値に出来ないか。</p> <p>BOD値は、近年は基準値以下の河川が殆どなのではないか。成果目標値として妥当なのか。</p> <p>生物多様性の保全に関して、多摩市では外来種の駆除に向けた取り組み、また成果目標値は必要ないか。</p>
F1-2	低炭素・省エネルギー社会の構築	<p>市施設における電気使用量ではなく、本来は市全体の電気使用量が分かるとよいが、難しいのか。</p> <p>今後4年間の重点的な取り組みである「自動車交通の合理的な利用の推進」の取り組み状況が反映される成果目標値が現在はないのではないかと。</p>
F1-3	資源循環社会の構築	<p>食品ロスの問題に取り組む必要はないか。食品ロス量の把握は困難と思われるが、多摩市での食品ロスには、家庭内の賞味期限切れ食品が占める割合も比較的高いのではないかと。その場合、生ごみ量、総ごみ量と食品ロス量にある程度の相関があるのではないかと。</p> <p>マンションの多い多摩市において、生ごみ処理機器の普及は生ごみ量削減に直結しないのではないかと。</p>
F1-4	環境を支える人づくりとパートナーシップの形成	<p>現状はアウトプットに近い指標と思われる。より民側の活動実態に近い、各種事業への参加者数やボランティア団体の活動内容活動状況を成果目標値に出来るかといえるのではないかと。</p> <p>A2-3の中で環境教育の推進が見えづらくなるのであれば、政策F1の各施策の中で学校教育との連携をもう少し明確に位置づけた方がよいのではないかと。</p>